

地域包括ケア専門職“絆”研修第9回 ②在宅療養中「生活支援」

〈日 時〉 令和6年10月27日(日)



7. スタッフの振り返り

1. 良くできたと思うこと、このままやっっていこうと思うこと

【ファシリテーター】

- ・GW②では、グループメンバーが出している意見から、もう一歩進んで考えられるようにファシリテートすることで話し合いが深まった。そのGWで目指すものを理解し、その次の講義の内容につなげて考えられるようなファシリテートができた。
- ・グループワークで早い時間帯に意見が出終わった事があったが、そこから出てきた意見を更に深掘りできるような投げかけをする事により、ディスカッションが活発になった。上手く皆さんの考えを引き出す事ができたと思う。
- ・ファシリテーターの支援だったので、見守りつつ議論が詰まったときに声掛けをしていた。
- ・グループワークでテーマを深掘りできずに意見が出切ってしまう、時間が使いきれなさそうだった

ので、少しテーマを具体的に考えられるように促し、深掘ることができたと思う。

- ・活発な議論がされており、それをサポートすることが出来たと思う。
- ・研修前と休憩中に参加者の方と雑談して、和やかな雰囲気づくりを意識したこと。
- ・グループワーク中、話題が少し逸れた場合に話題を戻すような声掛けができたこと(ただ、見極めが難しいと感じた)。
- ・前回のグループワークでは発表者と司会者を決めるのに時間を取られたが、今回はあらかじめ目星をつけていた参加者に打診することですんなりきました。
- ・グループのメンバーひとりひとりがしっかりと自分の意見をもっており、同じ意見ではなくてもお互いを認め合えるような意見交換であったと感じられた。そのような意見交換ができたことはとても良かったと思う。
- ・場の空気を見ること。相手の発言を否定せず傾聴の姿勢を持つこと。

【プレゼンター】

- ・前回のプレゼンの反省を活かし、グループワークで各グループを回り、あらかじめ意見交換の様子を把握できたこと。
- ・全体発表では、発表グループまで移動して、発表者の発言に傾聴の一言返すことが出来た。
- ・スライドとスライドがつながるよう、流れを意識してプレゼンをした。
- ・グループワークや全体の発表で時間の調整をしながら、時間通りにプレゼンを終えることができてよかった。
- ・今回の絆研修に限らず、自身が経験したことがないことは前向きに取り組んでいこうと感じた。
- ・事前準備ができたこと。打ち合わせでの先生やファシリテーターからの助言により、さらにブラッシュアップできた。人前で話すことは緊張して、なかなか慣れませんが、チャレンジする気持ちは持ち続けたいです…！

【事務局】

- ・当日欠席の連絡がなかったので、急な対応をすることなく受付ができた。
- ・研修までの準備期間。
- ・活発なグループワーク。
- ・ファシリテーターの介入。
- ・タイムスケジュール通りに研修が進めたこと。また、参加者の職種に伝えたいメッセージをプレゼンに入れていたこと。(今回は看護師が多かった、、、)

2. 今後努力を要すること、やり方を変えてみようと思うこと

【ファシリテーター】

- ・司会、書記、発表者が決まらない場合に備えて、決め方をあらかじめ準備しておくのはいいなと思った。
- ・アイスブレイキングでの参加者の緊張緩和がスムーズにできるかどうかで、その後のグループワー

クの意見の出やすさが変わるように毎回感じる。まずは自分が緊張せず、笑顔でお話する事で緊張緩和を図りやすいと感じる。今回も上手く参加者の緊張をほぐす事ができたかと思う。今後も色々な方法を考えながら、如何に和やかな雰囲気作りができるかをブラッシュアップしていこうと思っている。

- ・グループの人数が少なかったので、ファシリもメンバーの一員になりかけそうになる場面もあった。少しグループから離れて俯瞰してみながらできるよう人数を少し増やしても良いかも知れないと思った。が、あまり増えすぎても収集がつかなくなる可能性があるので難しいなと感じた。
- ・司会者、書記がなかなか決まらなかったが、決まらない時はどう決めるかをあらかじめ考えておく必要があると感じた。
- ・司会や発表者を決める際に、もたついてしまったためその対策を考えておきたい。まとめの時にあったじゃんけんではなく、『誕生日など特定の条件に当てはまる人物を指名する』方法は参考にしたい。
- ・時間のアナウンスについて、自分のアナウンスが全体とずれていたのが気を付ける。
- ・グループ内の役割がスムーズに決まらなかった場合の対応を考えておくこと。
- ・グループワーク中に出た意見を深堀すること（経験談や理由を引き出す問いかけ）。
- ・グループワーク中に参加者に適度に声掛けや問いかけを行えるようになること。
- ・やはり参加者は司会者よりもファシリを頼りにしているように感じるが多々あった為もう少し参加者に任せてもよかったかと感じることがあった。ファシリの役割を理解してもらえよう説明が必要だったかもしれない。
- ・研修内容をきちんと理解し講師の伝えたい事を把握しないとサポートができないと感じ努力が必要と感じた。
- ・グループワークの際、前のめりになってしまいファシリとしてではなく参加者の一人として一緒に検討してしまったと振り返る。ファシリとしての距離感に注意していきたいと思います。

【プレゼンター】

- ・第1回目の打合せまでに、資料をしっかりと確認しておく。
- ・ポインターの操作技術
- ・場に慣れること。
- ・参加者に意見を求める時に参加者が意見を言いやすいように工夫する。自身のプレゼンの時は、一人目の発言まで間があったが、一人が発言したら続けて2人目3人目と発言していただけた。一人目の発言をどう引き出すか。
- ・意図をもって問いかけの内容を考えること。

【事務局】

- ・介護職の参加者を増やすこと
- ・各事業所の研修担当などに直接働きかけるなどして、参加者を増やすこと。

3. 研修参加者にとってよかったと感じたこと

- ・多職種と話し合いを行うことで、自分以外の職種の考え方を共有できたこと。

- ・今回の研修を受講した事により、ACPについて今からでも家族で話をする事が大切だと思った。今日にでも家族と話してみたいと思った。今日の研修を受けて良かったと思う。との声があった。
- ・皆が発言の機会もあり否定されず安心して発言できてよかったと思う。
- ・1人の住民としての役割を知る。
- ・各専門職種の価値観の違いを知る。
- ・グループワークが苦手と感じている参加者も、ファシリテーターのサポートがあり、負担なく研修に参加できた。
- ・多職種が集まりグループワークを行う研修はあまりないため、参加者にとっては有意義な研修だと感じる。
- ・ACPについて、あまり知らない、ほとんど知らないといった参加者もあったため他の職種の考え方も参考になったと言われていた。
- ・普段、サービス担当者会議に参加することの少ない病棟看護師さんも多かったがその方々にもサービス担当者会議ではどのような医療職が参加し、内容が議論されているかを知ってもらうことが出来た。今後の病棟業務(退院前カンファレンスでの情報準備など)には役立ててもらえるのではないだろうか。
- ・全員がグループワークに参加し、雰囲気よくグループワークが行なわれていたこと。
- ・司会者の方がグループワーク中に参加者の方全員に話題を振り、多くの意見が出た。
- ・自分の意見を他の人に聞いてもらったり、聴いたり心配なく意見交換の場があるというのはとても大切なことだと思う。絆研修がそのような場になっているのは継続する意味があると感じている。
- ・自分とは違う職種、環境の話聞き「へえ～」「そうなんですね」と声が上がった。日頃、自分とは違う職種、同じ職種でも病院と訪問系等違う環境の話聞く機会があり良かったと感じた。
- ・休憩時間や終了後、参加者の皆さんが談笑されたり和やかな雰囲気だった。
- ・多職種での意見交換、相互理解。ACP に関する体験談。

4. 研修参加者にとって良くなかったと感じたこと

- ・グループによっては、司会者と発表者を決めるのに少し時間がかかってしまったところがあった。自主的な手上げがなかった場合には、どなたにさせていただくかを決める(不公平感のない)ルールを作っても良いかと思った。
- ・グループワーク②では、グループにより、意見の広がりバラつきがあった。「満場一致」という発表もあったが、それぞれ考えは少しずつ違うと思う。繊細な部分であり、表出しにくいのもかもしれないと思った。
- ・自分の意見をワークシートに書く作業と、グループワークで発言する際に付箋に書く作業が必要。自己ワークの時点で、付箋に書くようにして、グループワークで意見交換する際に、貼って整理していく方が良いかもしれないと思った。
- ・良くないというわけではないが、介護士や管理栄養士、福祉用具相談員等の参加があればさらに多職種の視点を学べると思う。
- ・もう少し色々な意見が出てきた方が良かったと感じました。
- ・議題によって発言や意見の量にバラツキがみられたが、自分もファシリテーターとして発言や意見

を引き出すことができなかった。

・打ち合わせが3回あったため、内容や準備するものの確認ができた。

5. 研修までの準備に関する感想

・推進室の皆様には、細やかなサポートをしていただき、大変感謝をしている。資料の提供からメールによる質問への回答、当日には皆さんの温かい声かけもしていただき、大きな支えだった。

・完璧なプレゼンができれば一番良いが、上手いかわなくても参加者全員で作り上げているような温かい研修(=絆)だと感じた。

・プレゼンに関して、皆さんから沢山の意見をいただき本番に臨めたため、打ち合わせが数回あることはとても助かった。

・事務局も資料の作成、会場準備等、とても大変だったと思う。お疲れさまでした。

・プレゼンターの方々の成長を見ていて、心からすごいなと思った。

・いつも丁寧な打合せを準備していただいて有難いです。また、他スタッフの皆さんからたくさんの学びをいただいて毎回とても勉強になります。

・プレゼンターの方の準備の量やプレッシャーのかかる中でやり遂げられることについて、いつも凄いと感じています。

・3回の打ち合わせ会のおかげで、安心して当日を迎えることができた。推進室の皆様には、個別にも対応いただき、ありがとうございました。

・プレゼンターの3名の方が準備段階の初めに比べると何段階もよくなっていたため、準備は必要と感じている。準備段階から参加することで、ファシリやスタッフの研修に対する気持ちがまとまっているのでとても必要な時間だと思う。

・私自身初めての参加で周囲の方についていだけで精一杯だった。発言の機会もあったが中々発言できずにいてしまい協力ができなかった。

・プレゼンターの双方向性講義のスキルを確認することが、毎回自分にとって新しい気づきや取り入れたい、マネしたいと思うことが出てくる貴重な機会となっているため、これからも大切にしていきたいと感じた。

・プレゼンターの皆さんの仕上げ具合、素晴らしい！その背景には、一緒に創り上げている皆さまのプラスのフィードバックが素晴らしいと思った。

・今回もプレゼンターの方々が本番までにどんどんとブラッシュアップをされていくのが良く分かった。毎回皆さんの発表と、それまでの努力に感嘆します。

・少し慣れが出てきて、以前はしっかりと細部まで話合えていた事が抜けているように感じる事があった。もう少し細かい部分を詰めて準備していった方が良いのかなと感じた。

・グループワークの段取り(個人ワークをワークシートにするのか、ポストイットに書くのか等)をもう少し全体的に決めておいてもよかった。

・「きっとわかっているだろう」という思い込みで、確認しなかったことは、当日臨機応変に対応することはできたとしても、結果的に方法がバラバラになってしまうことがあった。細かいところも含めてしつつこく打ち合わせを行った方がよいと感じた。

【研修全体について】

- ・事務局の方々の案内も含めた準備、あつての研修だと思ふ。ありがとうございました。
- ・どのグループも楽しそうに取り組めていたなと思つた。
- ・今回も参加者の方々がしっかりと発言されているように感じた。前回よりも各グループが少人数だったので皆さんの意見を拾ひ易かつたのだと思ふ。
- ・薬局の方々や病院勤務の方々の出席が増えていると思ふ。在宅ケアの流れを知っていただく良い機会だなと感じている。
- ・数年ぶりの集合研修の参加だったが、以前よりも会場の雰囲気明るく、参加者の表情も穏やかな印象を受けた。とみやすベースや映画上映会など、様々な取り組みの効果ではないでしょうか。
- ・大きな問題なく研修が終了でき良かった。
- ・グループワークとしてはACPを自分事として考えていただくことができ、よかつたと感じた。全体的にもスムーズに進行もできてよかつたと思ふ。
- ・毎回、様々な気付きや繋がりを得る事ができ、運営側でありながら沢山勉強させていただいている。絆研修をお手伝いさせていただくようになって約1年が経過したが、実際の在宅の現場でも研修会で繋がつた方々とお仕事をする機会が増えてきて、よりスムーズな連携が出来ている。今後とも毎回何かしら携わらせていただき、東部地区の在宅医療の発展に少しでもご協力できれば幸いです、よろしくお願ひします。
- ・アイスブレイクにファシリもペアづくりのため参加させていただきましたが、自分自身の緊張をほぐすことができたり、グループの輪に入りやすかつたりしたので良かったと感じました。
- ・ほかの職種の方々の意見を聞け勉強になった。次回はもっと参加者の方と適度に交流できるようになりたいと思ふ。
- ・打合せの段階から、スタッフの皆さんの研修会に向かう姿勢にいつもいい刺激をもらっている。
- ・同じ絆研修であっても、プレゼンターが変われば雰囲気も変わり新たな研修のように感じられる。それでも、準備段階がしっかりあるため、柱は通っているため、それぞれの回の伝えるべきところを押さえられているから絆研修は安心して参加できる研修であると考えている。
- ・病院関係者がほとんどで、他職種の参加が増えたらいいなと感じた。この研修修はケアマネの中の周知はないわけではないと思ふ。日頃多忙な業務の中研修参加は負担が大きいいため、他の研修(ケアマネ向けの研修や資格の更新研修等)と開催時期が被らない配慮が必要だと感じた。
- ・今回ファシリテーターではなかつた八尾さんに、急遽お願ひして引き受けて下さつた。安心してお任せできた。ありがとうございました。
- ・大きなトラブルもなく時間どおりに進行、終了できたことや、参加された方から「また参加します」という嬉しい声をいただけたのも、皆さんのご協力のおかげ様。
- ・プレゼンターの皆さん、本番にベストな状態に合わせてこられてさすがです。双方向でのやり取りも興味深いものだった。たくさん練習されたと思ひます。お疲れ様でした。
- ・当たり前だが、グループによって出てくる意見や話し合いの違いや楽しそうにワークに取り組んでいる様子を体験する毎に研修会を開催できたことが嬉しく思ふ。また、多職種で集まれていることも引き続き大切にしていきたいと感じている。